市政トピックス

岩出山地域から古川地域に流れる「内川」が「世界かんがい施設遺産」に登録されました

10月7日、タイ王国チェンマイで行われた国際かんがい排水委員会（ＩＣＩＤ）において、岩出山地域から古川地域に流れる「内川」が、県内初の世界かんがい施設遺産登録施設となりました。

かんがい施設遺産は、かんがいの歴史・発展を明らかにすること、理解醸成を図ること、かんがい施設の適切な保全を目的に、ＩＣＩＤにより平成26年度に創設された制度です。１００年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたものなど、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録・表彰するもので、内川を含め国内の27施設が登録されています。

世界かんがい施設遺産登録によって、かんがい施設の持続的な活用や保全方法の蓄積、研究者や一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上、かんがい施設を核とした地域づくりなどに活用されることが期待されています。

▲内川は、400年以上も前に、伊達政宗公の命により開削（かいさく）されました

▲新緑に囲まれた内川を散策

ラムサール条約湿地「化女沼」と「蕪栗沼・周辺水田」を結ぶ案内看板が寄贈されました

10月20日、東北電力株式会社古川営業所より、電柱に設置する交通案内標識を寄贈いただき、併せて市道大崎北部広域農道などの電柱8カ所に無償で設置をしていただきました。

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）に基づき登録されている、「化女沼」と「蕪栗沼・周辺水田」には、冬になると飛来する渡り鳥たちを観察しようと、数多くの人が観光に訪れます。

しかし、「蕪栗沼に自家用車で訪れると道に迷う」などの指摘があり、蕪栗沼と化女沼、長者原スマートインターをつなぐ交通経路の明確化が課題となっていました。今回寄贈いただいた案内標識によって、経路が明確になることが期待されます。

今年も、10万羽を超える渡り鳥が飛来しています。皆さんも、パタ崎さんをあしらった標識を目印に、市の鳥に制定された「マガン」をはじめ、大崎市で越冬する渡り鳥を観察しに、化女沼や蕪栗沼を訪れてみませんか。

▲化女沼と蕪栗沼を結ぶ道路上8カ所に設置してあります

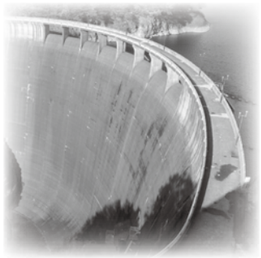
2016 11月の主な出来事

3日	●大崎市誕生10周年記念事業「大崎市誕生10周年記念式典」 ●平成28年大崎市表彰式 ●㈱池月道の駅「横綱白鵬関優勝額除幕式」
5日	●第13回松山邑まつり
8日	●古小タイガース第34回ＩＢＡ秋季東日本低学年大会優勝報告会
9日	●姉妹都市東京都台東区新米贈呈式（東京都台東区）
10日	●第213回鹿島台秋の互市（～12日） ●第10回おおさき子どもサミット2016
12日	●古川南中学校開校10周年記念式典 ●おおさき環境フェア2016 ●きょうDo!（協働）のまちづくり文化祭2016
16日	●第2次大崎市総合計画の答申 ●第2次大崎市産業振興計画の答申 ●古川地域交通死亡事故ゼロ1年達成に伴う感謝状贈呈式
18日	●第31回大崎バルーンフェスティバル大会（～20日）
19日	●岩出山中学校創立20周年記念式典 ●国道347号通年通行記念式典（山形県尾花沢市）
23日	●大崎市誕生10周年記念事業「仙台フィルハーモニー管弦楽団公演」
26日	●おおさき市民活動の集い

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。
おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。
そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



三本木発

市の木制定後初めての「桜」の植樹

11月6日、三本木地域の館山公園で、大崎市の木「桜」制定記念・大崎市誕生10周年記念「館山公園『桜』植樹祭」が行われました。

小高い丘になっている館山公園は、遠景からの展望もよく、地域の桜の名勝地となっていますが、近年では桜の病や老齢化が進んでいます。

植樹した若い桜が開花し、丘を染め上げる春の訪れる日を、今から待ち遠しく感じます。

▶地元企業や地域の皆さんなど約70人が参加しました

鹿島台発

鹿島台駅周辺整備の完成を祝う

10月23日、鹿島台駅グランドオープンを祝うオープニングセレモニーが、駅西口に設置された仮設大型テントで開催されました。

昨年、新駅舎と東西自由通路を整備したJR東北本線鹿島台駅。引き続き整備していた東西駅前広場が完成し、グランドオープンを迎えました。

鹿島台まちづくり協議会の高橋会長は「ここを拠点に、鹿島台を元気にする取り組みを進めていきたい」と、地域づくりへの決意を新たに、完成を喜んでいました。

鹿島台駅の開業から124年、大崎市の南の玄関口として、鹿島台地域のさらなる発展が期待されます。

▲ロータリーへと生まれ変わった鹿島台駅前広場

◀駅の完成を待ち望んだ皆さんが埋め尽くした会場

松山発

秋晴れとともに「松山邑（むら）まつり」大盛況

▲女の子の憧れ、お姫様になりきりました

▶松山小学校6年生の皆さんが、松山の伝統芸能「金津流獅子躍（かなつりゅうししおどり）」を披露しました

11月5日、松山邑まつりが酒ミュージアム・ふるさと歴史館前で開催され、多くの来場客で賑わいました。

会場では、五穀豊穣を祈願して踊られる「金津流獅子躍」が披露され、伝統芸能の趣がある装いと舞が、まつりをいっそう盛り上げていました。また、松山酒ミュージアム内では「お姫様変身体験コーナー」が設けられ、体験した女性は豪華絢爛な衣装に身をまとい、顔をほころばせていました。

訪れた人々は、さわやかな秋晴れの中、さまざまな催しで松山の秋を満喫していたようです。